

市議会だより さつて



幸手八坂の夏祭り

7月19日には花山が行われ、駅前を駆け上がる勇敢な姿に興奮は最高潮に達しました。

5月臨時会・6月定例会のおもなことから

- ・ 正副議長や常任委員会の所属を決定 …………… 2～3ページ
- ・ 5月臨時会・6月定例会議案 …………… 4～5ページ
- ・ 各常任委員会での審議 …………… 6～7ページ
- ・ 市政に対する一般質問 …………… 8～15ページ
- ・ 議決結果の一覧、編集後記 …………… 16ページ

No.75
2015年
8月

就任にあたって



議長
手島幸成



副議長
小林順一

市民の皆様におかれましては、平素より幸手市議会の諸活動に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
このたび、平成27年幸手市議会第1回臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長および副議長の要職に就任いたしました。まことに身に余る光栄

であると同時に、その重責を痛感し、身の引き締まるおもいでございます。

さて、今日の地方自治は、行政と議会が相互に抑制と均衡を保ちながら、地域の実情にあった自治体運営とまちづくりを進めていくことが求められています。

本市議会では、昨年12月、幸手市議会基本条例が全会一致により成立し、今年4月に施行となりました。

この条例により、議会と議員の役割を明確にし、そして市民の負託に的確に答える議会のあり方について常に追求し、市民に開かれた議会、市民とともに歩む議会、市民のための市政を目指す所存でございます。

今後とも市議会の活動や市政について、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



ご挨拶



幸手市長
渡辺邦夫

4月の幸手市議会議員一般選挙において当選されました15名の議員の皆様には、心よりお祝い申し上げます。

言うまでもなく、議会は議決機関であり、私も執行機関と役割こそ異なりますが、行政運営の両輪として、それぞれ独立

し、対等な立場で職務を行いなから、地域の発展、そして、住みよいまちづくりをすすめていかなければなりません。

その中で本市では、圏央道周辺の幸手中央地区産業団地整備や幸手駅西口開設に向けた駅舎整備等、将来の発展につながる事業とともに、人口減少や少子高齢社会への対応、都市基盤整備、災害対策など、様々な課題に対して、必要な事業を積極的に推進しております。

議員の皆様におかれましては、各事業へのご理解ご協力と共に、市政進展に向けた、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

会長として武藤寿男議員、埼玉県市議会議員会理事として手島幸成議員にそれぞれ感謝状が贈られました。

表彰

全国市議会議長会、埼玉県市議会議長会の定期総会において議長職4年として武藤寿男議員が表彰を受けました。

また、埼玉県市議会議長会副



議員の紹介

①会派名
②当選回数



本田 謡子
①改革
②2回



小河原浩和
①改革
②2回



小林 啓子
①公明党
②2回



大山 重隆
①無所属
②1回



巻島 幸男
①新風
②1回



中村 孝子
①先進
②4回



小林 順一
①無所属
②4回



木村 治夫
①自民クラブ
②2回



宮杉 勝男
①無所属
②2回



松田 雅代
①先進
②2回



大平 泰二
①日本共産党
②8回



武藤 壽男
①無所属
②6回



手島 幸成
①無所属
②5回



青木 章
①新風
②5回



藤沼 貢
①自民クラブ
②5回

議員の役職一覧

議長	手島 幸成					
副議長	小林 順一					
総務常任委員会委員	◎小林 啓子 小林 順一	○宮杉 勝男 中村 孝子	巻島 幸男 藤沼 貢	大山 重隆 青木 章	本田 謡子 手島 幸成	小林 啓子 大平 泰二
文教厚生常任委員会委員	◎本田 謡子 小河原浩和	○木村 治夫 松田 雅代	巻島 幸男 手島 幸成	大山 重隆 武藤 壽男	小林 啓子 大平 泰二	小林 啓子 大平 泰二
建設経済常任委員会委員	◎松田 雅代 中村 孝子	○小河原浩和 藤沼 貢	宮杉 勝男 青木 章	木村 治夫 武藤 壽男	小林 順一 大平 泰二	小林 順一 大平 泰二
議会運営委員会委員	◎中村 孝子 ○小河原浩和 藤沼 貢 青木 章					
監査委員	青木 章					
利根川栗橋流域水防事務組合議会議員	巻島 幸男 小林 順一	小河原浩和 青木 章	本田 謡子 手島 幸成	宮杉 勝男	木村 治夫	
広域利根斎場組合議会議員	小林 啓子	松田 雅代	宮杉 勝男			
埼玉東部消防組合議会議員	本田 謡子	武藤 壽男				
都市計画審議会委員	巻島 幸男	大山 重隆	松田 雅代	中村 孝子		
議会広報編集委員会委員	◎手島 幸成 松田 雅代	○小林 順一 木村 治夫	巻島 幸男 武藤 壽男	小林 啓子 大平 泰二	本田 謡子	

◎委員長 ○副委員長 (議席番号順)

新議会、初の定例会終わる

6月定例会 5月臨時会

議会改選後最初の定例会となる平成27年6月定例会は、6月1日から6月19日までの会期で開かれ、議案2件および農業委員の推薦などが審議されました。また、それ以前の5月19日に開催された臨時会において、前掲の新たな議会の構成が決定し、9件の専決処分承認などが審議されました。

教育委員を1人増員、可決

本年4月より、教育委員会を規定する、新たな「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が施

行されました。この主な特徴は、上記の表のとおりです。

従って新教育長に、教育行政の大きな権限と責任が集中するため、教育委員会の委員によるチェック機能の強化と、教育行政に多様な民意を幅広く反映させることが求められることとなりました。これまで、教育委員長、教育長を含め、5人の委員で構成されてきましたが、新教育長は議会の同意を得て、市長が任命することに、教育委員の定数は4人となっていたものです。

新教育委員会制度

- 1 教育委員長を廃止し教育長に一本化（任期3年）
- 2 首長を主宰者とする総合教育会議の設置
- 3 教育に関する大綱の策定
- 4 教育委員会のチェック機能の強化



います。今回の1人増員と合わせ、今後2人を速やかに選任しなければなりません。任期については、委員の任期満了の期日が、特定の年に偏らないように、一年以上4年以内で首長が定めることができるとの、特例が決められています。

4人の農業委員を推薦

幸手市農業委員会の委員の任期が、本年8月6日を以て満了となります。委員の総数は20人ですが、そのうち、議会推薦は4人となっています。なお、任期は平成30年までの3年間です。

今回は、次の4人の方が議会より全員一致で推薦されました。全委員女性農業者であり、新たな活躍を期待しています。

増田 恋子 さん

増田 順子 さん

泉 信子 さん

黒川 幸子 さん

そこで、教育委員会は委員の多数決で意思決定されることから、また、幅広い各界各層の住民の意向を反映できるよう、条例で定めれば増員できることから、幸手市教育委員定数条例を、1人増員し5人とする議案が提案されました。議会では、その趣旨を踏まえ、文教厚生常任委員会審議の後、全員一致で可決しました。なお、教育委員は、市長が議会の同意を得て任命することから、職業等においても偏りが生じないよう配慮するなど、人選は極めて重要となります。現在、6月定例会に提出予定の教育委員の選任議案が、提案されなかったため、1人欠員となつて

平成27年度幸手市一般会計補正予算(第2号)
民間保育所整備補助金
1億4416万3千円を追加

市内の認可保育所は、公立3か所・私立1か所の計4か所です。今後、さらに保育環境整備を進めるため、民間法人より申請のあった、保育所建設補助金を市として交付することが審査され、全会一致で議決しました。審議内容は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1億4416万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億64億5431万8千円とするものです。(整備の概要は一覧表ご参照ください)



認可保育所建設予定地付近

認可保育所等の整備について

民間の認可保育所、小規模保育施設整備の概要

種別	認可保育所	小規模保育施設
運営	社会福祉法人 五霞愛隣会	社会福祉法人 天神福祉会
所在地	幸手市大字松石字田倉 (西中学校隣接)	幸手市大字天神島 (旧てんじん保育園敷地内)
定員	80人以内	19人以内
施設の状況	延床 750㎡程度 木造平屋	延床 180㎡程度 木造平屋
建設費補助金	国庫補助金 (2/3) 1億2,814万5千円 市補助金 (1/12) 1,601万8千円	国庫補助制度なし 市補助なし
開設予定時期	平成28年4月	平成27年度中

臨時会の主な提出議案

◆専決第5号 平成26年度一般会計補正予算 (第8号)
 (議案第40号)

市たばこ税134万9千円減額等により、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ835万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億618万円とした。

◆専決第6号 平成26年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)
 (議案第41号)

国民健康保険税8302万円減額等により、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億7602万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ73億2744万9千円とした。

◆専決第7号 平成26年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号)
 (議案第42号)

後期高齢者医療保険料1361

万3千円減額等により、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1334万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億6851万3千円とした。

◆専決第8号 平成26年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第2号)
 (議案第43号)

受益者分担金32万円減額等により、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ32万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3209万9千円とした。

◆専決第9号 平成26年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算 (第5号)
 (議案第44号)

市債額確定2770万円減額等により、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2770万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億8557万2千円とした。

総務常任委員会

平成27年度幸手市一般会
計補正予算 (第2号)
(議案第47号)

問 今回の保育所等整備交付金と子育て応援基金繰入金の関係で、保育所等整備交付金が出るに至った経緯、どのように今までに計画されて今日に至ったのか伺う。

答 国庫補助金については、国の制度で民間保育所の整備については補助基本額の3分の2を補助するというような制度である。

これに基づいて、五霞町にある五霞愛隣会が幸手市に保育所を建設したいという申し出があった。これについての申請を国にし、今回の歳入予算計上をしている。

問 子育て応援基金の繰入金について伺う。

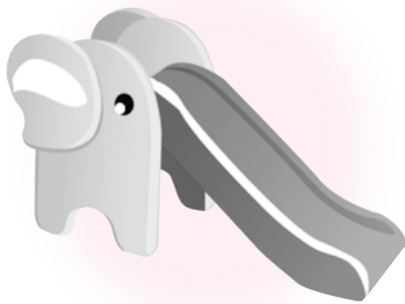
答 子育て応援基金については、平成26年度に新たに設置したが、平成26年度末の基金残額は3億円である。

平成27年度については、当初予

算3千万円の取り崩しと、今回1千601万8千円を足すと、年度末の見込みは2億6千424万6千円の見込みである。

問 子育て応援基金の使用計画として、第2保育所の件(建設計画)が入っていたのではないか。

答 子育て応援基金については、子育て関連の事業に充てるもので、第2保育所の建設その他子育て関連の施策に充てるために設置した基金である。



文教厚生常任委員会

幸手市教育委員会委員定
数条例 (議案第46号)

問 教育委員を一人、増員しなければならぬ理由は。

答 教育委員会制度が変わり、教育長が委員とは別枠となり、客観的に意見を出せる人数が一人減ってしまうことで、議論の活性化を図りたい。また、教育問題は今以上に多種多様化して、市の教育の充実と発展のため、より多くの方から知恵を取り入れたいというところが、教育委員から提案され、教育委員の総意として、一人の増員をお願いするものである。

問 保護者枠があったとすれば、4年間くらい保護者枠で通用される方を選ばないと、教育委員の人のバランス的に崩れるおそれはないか。

答 保護者枠というのが特別にあるわけではなく、教育委員の中に保護者が一人含まれるようにするというのが法律である。確かに何人

も保護者となると、偏りが出る可能性はあるので、偏りが出ないような形で選任をお願いしたい。

問 人選において、人格高潔で識見を有する方とレイマンコントロールによる市民感覚を有する方のバランスは。

答 レイマンコントロールでいえば、必ずしも教育の専門家でない方。もう一方、教育に関する識見でいえば、教育に関心が高い方、何か自分で活躍されている方、ボランティアで活躍されている方など。文部科学省の通知の中の例では、PTAの役員も含まれる。

平成27年度幸手市一般会
計補正予算 (第2号)
(議案第47号)

問 国庫補助金は確定しているのか。

答 内示を受けている。

問 内示を受けた時期は。

答 4月7日。

問 国に申請した時期は。

答 事前協議ということで、事前協議書を3月12日に提出。

問 急に出た民間保育所設置の経緯は。

答 平成29年度に保育施設等の整備を計画していたが、2月中旬過ぎに社会福祉法人五霞愛隣会から認可保育所設置運営に係る事前相談があり、平成26年度の繰越分による平成27年度保育所整備の補助金が活用できることから、必要性もあり、計上した。

問 新たに民間の保育所を設置することに於ける、子ども・子育て支援事業計画との乖離について。

答 この計画は、平成25年度のニーズ調査等により、また今後の増加する推計をたてたもの。新年度の申し込みの数字は予想できなかった。そして、保育所等利用の計画を載せ、幼稚園から認定こども園への移行および保育所や小規模保育施設の設置を推進し、確保提供量の増加を目指し環境整備を進

めていく。

問 新たに民間の保育所を設置した場合、供給過剰にならないのか。

答 定員は80人以内で法人と調整中である。幸手市では月平均20〜30人の子どもが生まれている。今後働く保護者も増え、特に女性の就業率は上昇の中、安心して子どもを育て働ける、子どもをまた産みたいというような受け皿を用意し、体制を整えていく。

問 私立幼稚園協会は、保育所の定員が増えることを承知しているのか。

答 説明の際に、3〜5歳の定員について、できれば施設の設定者と定員を減らす方向で調整をとる要望があった。



建設経済常任委員会

今定例会、建設経済常任委員会に付託された議案はありませんでした。なお、閉会中、左記の要領にて委員会を開き、所管事務調査を実施いたします。

1. 期日

平成27年8月19日(水)
午前9時30分〜正午

2. 調査目的

所管する事務の調査を行い、事務に関する理解を深め、今後の参考とするため

3. 調査項目

- (1) 幸手駅西口土地区画整理事業について
- (2) 幸手駅舎整備事業について
- (3) 自由通路整備事業について

※所管事務調査とは
常任委員会はその所管に属する事務について、自主的にテーマを設定して調査することができると定められています。



西口駅前広場予定地



西側から駅舎を望む

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が6月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林 順一 議員

- 市内全小中学校の普通教室へエアコン設置について
- 市民の安心安全な暮らしについて

小河原 浩和 議員

- 国道4号線バイパスの三田交差点設置要望について
- 幸手市の農業振興について
- 幸手市の税金徴収のあり方について

小林 啓子 議員

- セカンドブックススタート事業について
- 記念用つき婚姻届けについて

松田 雅代 議員

- 幸手駅西口整備事業について
- 市の教育施策について
- 「幸手創生」に向けた取り組みについて

中村 孝子 議員

- 市役所本庁舎整備事業について

青木 章 議員

- さってアフタースクール事業について
- 産業団地について
- 幸手駅舎について
- 公立保育所について

巻島 幸男 議員

- 教員の職務量削減
- 子ども110番の家
- 人口問題と少子高齢化
- 通学路の安全確保
- 幸手市を発信する際の訴求戦略

宮杉 勝男 議員

- デマンド交通システムと循環バスの比較について
- 治水対策の見直しについて

大山 重隆 議員

- 超高齢化社会への対策（基本方針として）
- 平成27年4月の介護保険大改正に伴う幸手市の方針を伺う。

大平 泰二 議員

- 防災対策
- 社会資本整備総合交付金
- 東西自由通路整備事業
- 橋上駅舎整備事業
- 東西口自由通路、橋上駅舎関連事業
- 駅西口土地区画整理
- 住宅リホーム制度
- 市民負担の軽減について

木村 治夫 議員

- 道路網の整備について
- 観光の振興について
- 農業基盤の整備について

武藤 寿男 議員

- 新教育委員会制度と総合教育会議について

藤沼 貢 議員

- 調整区域の環境整備について
- 環境の整備について
- 仮設駅舎について

本田 謡子 議員

- 幸手市廃棄物減量等推進員について
- 元気で長生きの施策について
- 庁舎内の自販機について
- 幸手市営釣場神扇池について
- 渡辺市長の市政運営に対する評価について

- それぞれの内容の詳細は会議録及び市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 6月定例会の会議録は9月上旬頃公開予定です。

9月定例会のお知らせ

9月1日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp>

5月臨時会

傍聴者	3人の方が傍聴されました。
-----	---------------

6月定例会

傍聴者	56人の方が傍聴されました。
-----	----------------

議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。

4月	741件	5月	1 000件	6月	3248件
の方が視聴されました。					

市民に安心安全な暮らしを



小林順一議員

Q 信ぴょう性が高いとされている首都直下型地震での死者は約2万3千人、約1220万件が停電するとされ、復旧後にスイッチが入ったままの電気器具から出火する「通電火災」を抑えるため「感震ブレーカー」を政府は注目している。

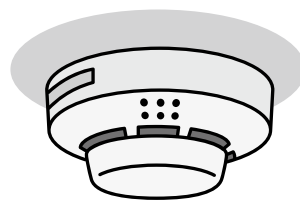
そこで、市内各家庭、店舗への煙感知器、熱感知器の設置状況

況を伺う。

また、市内各家庭、店舗への感震ブレーカーの設置助成を提案するが所見を伺う。

A 各家庭の火災警報器の設置状況については、平成27年3月に行なった訪問調査では、77・0%であり、設置が必要な店舗や工場等の防火対象物への設置状況については、平成26年4月1日現在で98・1%である。

のか伺う。



感震ブレーカーの設置助成については、当市は国が定めた地震時等に著しく危険な密集市街地には該当していないことから、現在のところは考えていないが、大地震において電気火災を防ぐのに効果的であるので、設置については啓発していきたいと考えている。
(市民生活部長)

国道4号線バイパスの三田交差点設置要望



小河原浩和議員

Q 国道4号線バイパスの4車線化に伴い、地元住民に対する説明会が行われた。その中で、幸手市物新田・三田地区の菱沼南交差点の設置が予定されていたが、工事の経過とともに菱沼南交差点は、設置されなくなった。どのような経緯で交差点が設置されなくなったのか。また、今後どのようなになる

A 三田交差点については平成25年10月の北首都国道事務所による住民説明会にて、定期周期信号機を新設し交差点として存続する計画であると、住民の皆様へ説明をおこなった。しかしその後、信号設置間隔の基準が130mから150mに改定され、信号設置が不可能であると、埼玉県警察本部より交通協議の回答を受け、交差点計

画がなくなったものである。

今後については、国で行う交通量調査の結果をふまえ、必要に応じて国を通じて県警へ要望してまいりたい。

(建設経済部長)



セカンドブックスタート事業の導入は



小林啓子議員

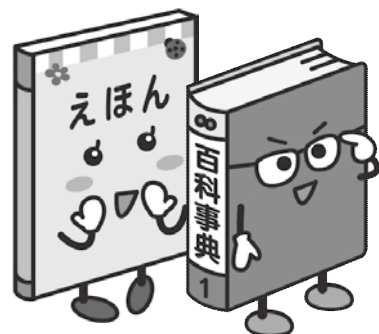
Q 本年4月より図書館が指定管理となった。

昨年9月議会においてセカンドブックスタートについて一般質問をした。答弁として本事業の導入に向けて具体的な調整を図るとのことであった。導入時期とセカンドブックスタートの事業内容を伺う。

A この事業の実施にあたっては、総合振興計画実施計画での採択や予算化などの手続きが必要だが、事業は平成28年度から実施できるよう、調整を進めていく。

また事業の対象を市内小学校に入学する児童とし、その年齢にふさわしい図書を複数セレクトし、入学時に一冊選んでもらい、贈呈したい。具体的な贈呈方法等は今後検討していく。

(教育次長)



国費補助まさかの減額 事業推進への影響は



松田雅代議員

Q 幸手駅西口整備は、今後5年間は区画整理・自由

通路・駅舎建設をパッケージとして事業を進めるとしている。ところが今年度は国庫支出金が予定を下回る減額交付となることとが判明。特に区画整理事業への配分率は33・9%となり、このままでは一般財源からの持ち出しは必至。国費の動向を考え

れば、駅舎建設が区画整理事業を財政面で圧迫するのではとの懸念が高まる。パッケージでの事業化の過程でこの事態は予見できなかったのか。財源・事業への影響を伺う。

A 全国的にみて、社会資本整備交付金における今年度の街路事業分の配分は、特に低い状況と国からの説明を受けている。市町村が要望する交付額は、国から内示を受けるまで、

市町村においても予見できないため、当初予算上は要望額を見込めざるを得ないものである。今年度の事業については、事業を進める上で、特に必要なものは9月の補正予算で対応し、第1期エリア内の工事の中で調整できるものは翌年度に繰り下げで対応し、改めて国費要望を行い財源の確保に努めたい。

(建設経済部長)

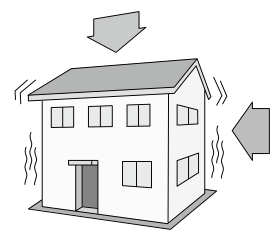
市役所本庁舎の耐震化はいつできるのか



中村孝子議員

Q 本庁舎は平成23年度の耐震診断により、2・3階は倒壊の危険性があるとされ、25年度に改修工事をする計画であった。25年度に突然建替となり、26年度にはまた耐震・建替の調査検討と計画が変わった。26年3月議会では、検討会議で26年度末には方向性を決めたいと。しかしいまだに何も無い。

多くの市民の来庁もあり、まずは耐震工事を、そして建替は十分に議論を尽くしてと思う。市長は庁舎の耐震をどう考えているのか、いつまでに決めようとしているのか伺う。



A 市役所本庁舎は、議会や行政の執行を行うことはもちろんであるが、市民交流活動や市民サービス、防災の拠点施設にもなる。このことから現在、実施の手法について、建築分野の専門的な意見を聞くことのできる適任者の人選を行っている。まずは耐震とすることであるが、最近では豊島区の例のように、庁舎建設には様々な手法もあるようであり、耐震改修か建替えのどちらが妥当であるかの方向を、できるだけ早期に見極め、更に検討を進めていきたい。

(市長)

公立保育所の整備



青木章議員

Q 幸手市では、就学前の子どもの保護者に対して保育所のニーズを調査し、その結果、今後幸手市では、保育所に入所できない「待機児童」が出る予測となる。

そこで、老朽化した第2保育所を別の場所に建て替え、保育所を大きくして定員を増やす対応をした方が良いと思うが、幸

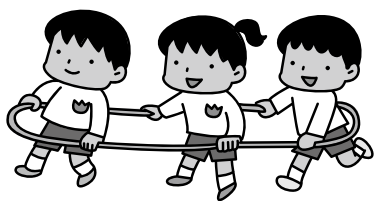
手市の対応を伺う。
また、特に0、1・2才児の受け入れ人数を多くするとともに、一時保育の充実をお願いしたいが、対応をあわせて伺う。

A 第2保育所は建設から約40年以上経過し、老朽化が進んでいる。

このため、旧栄中学校跡地に平成29年中に移転することを目ざし、建物の実施設計を行う。新たに民間保育園などの整備

を予定していることもあり、第2保育所の建物は大きくするものの、定員は現在と同程度としたい。ただし、低年齢児の受け入れについては柔軟な対応ができるように検討し、また、一時保育についても充実を図っていく。

(健康福祉部長)



子どもたちと向き合う教育本来の教務専念を



巻島幸男議員

Q 現場では新しい仕事は増えるものの、古い仕事は無くならない現状で、いじめの事前防止やいじめに発展する可能性のある不仲、子どもたちの小さな心の変化や救いのサインを見逃したり見落とししたりする事の無いように、子どもたちひとりひとり正面から向き合う教員本来の職務に専念できる環境

づくりが急務。
教員本来の教務専念への推進、考え方、取り組みについて伺う。

A 教育委員会としては、教員の負担を減らし、子どもたち一人一人に向き合う時間を確保することを目指し、会議や研修の精選、各調査の方法の検討を実施してきた。

具体的には、教職員一人一台の校務用PCを整備し、電子データでの報告に変更し、さらに

会計や成績処理のIT化による事務処理の効率化を図っている。

今後も、スクラップアンドビルドの手法で、効率的な学校運営を推進し、子どもたちと向き合った職務が遂行できるよう指導していく。

(教育長)



デマンド交通と循環バスを比較して



宮杉勝男議員

Q (1)デマンド交通システムを導入した場合の収支予測と市内循環バスの収支を1年の単位で比較した場合どのようなになるか伺う。
(2)年金だけで暮らしている高齢者にとっては、料金設定が高いと感じるが、見直す考えがあるか伺う。
(3)平成28年4月からの本実施

に向け、試し期間の半年の間に、料金等を含め広くアンケートを取り市民の皆様の声を反映させるべきと考えるが市の考えを伺う。

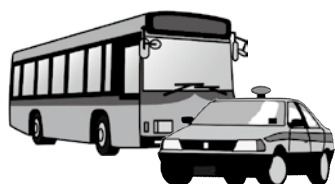
A (1)市内循環バスの年間平均経費1743万3190円とデマンド交通の予想収支1296万800円を比較すると、その差は447万2390円である。

(2)デマンド交通の利用料につ

いては、地域公共交通会議の協議を経て設定しており、高齢者や障がい者については利用料の減免を設けている。当面はこの利用料で運行する予定である。

(3)試行運行期間に市民へのアンケートを実施し、今後の参考にしたいと考えている。

(市民生活部長)



いつまでも元気に自宅で暮らせる施策は



大山重隆議員

Q 平成12年に導入された介護保険制度も超高齢化社会を迎え大きなたまづきを抱えている。今年の4月に大改正され、介護予防に重点が置かれた。医療と介護の連携による地域包括ケアシステムの構築が示され、その実現への市の施策を伺う。また実現への中核的役割を担う包括支援センターの機能

A 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みの中でも、医療と介護の連携は重点取組事項のひとつと位置付けており、今後も医師会等の関係機関と協働して連携体制の充実を図っていききたいと考えている。また、地域包括支援センターの機能強化については、職員の資質向上のための研修・指導や

強化が急務である。その強化策を伺う。



連絡調整会議を実施してき。今後、研修・指導等を継続していくとともに、職員の増員や基幹型地域包括支援センターの設置を検討していく。
(健康福祉部長)

東西口自由通路、橋上駅舎関連事業



大平泰二議員

Q 当初予算の関連事業費の中に占める社会資本総合整備費の要求額は、橋上駅舎関連事業1261万7千円。駅西口土地区画整理9460万円の合計1億721万7千円であった。しかし、実際国からの社会資本整備交付額は両方合わせて4470万円(4月9日発表)で予算要求額の41.7%で、大

A 幅に不足している。今後、橋上駅舎も区画整理も交付額が不足することが考えられるが、市の対応について伺う。

A 市としては重要事業のため、社会資本整備交付金を満額もらえるよう努力して参りたいと考えているが、国により配分額が変わる可能性がある。よって、社会資本整備交付金が計画通り得られない場合の対応としては、予算の補正等によ

る対応について協議をしていくとともに、配分額に併せて事業の見直しは必要であると考えている。

また、東西自由通路および橋上駅舎事業については協定工事であり短期事業のため優先的に交付金を配分いただけるよう国、県に要望を行う。

(建設経済部長)

市道交差点の交通渋滞解消対策は



木村治夫議員

Q 市内には、東西南北主要県道また、国道の交通路があるが、そのなかでも慢性渋滞が発生している市道1―26号線（大正新道）荒宿交差点の問題は永年未解決である。近辺地域市民また商店そして通勤通学者の安心・安全が脅かされている。市として朝夕の、交通渋滞解消に向けての具体的改善対策を伺う。

A 次に、市民の日々の暮らしに不可欠な生活道路整備について、歩行者・自転車利用者の安全に配慮した具体的対策を伺う。

市道1―26号線荒宿交差点における交通渋滞解消対策については、時差式信号機の導入や右折レーンの設置の意見があったが、施設改良が必要となり、現状では大変難しい。

市としては、信号機のLED化や渋滞となる朝夕における信号機の時間調整を警察に要望したい。

生活道路の安全対策としては、路面標示や注意喚起の看板設置を行っている。更なる対策として、市道1―26号線は大型車交通規制が踏切までなので、市道1―5号線交差点部まで延長要望したい。

（市民生活部長）

教育大綱の策定と政治的中立性の担保は



武藤寿男議員

Q 新教育委員会制度が施行され、その大きなものとして、市長を主宰者とし総合教育会議が設置された。役割として市長と教育委員会が協議し、教育基本法を参酌し市の教育の振興に関する施策の大綱を策定する事となっているが、本市では、どのように策定されるのか。

A また、市長が新たに教育行政に関与することになるが、教育の政治的中立性、継続性、安定性は、どのように担保されるのか。

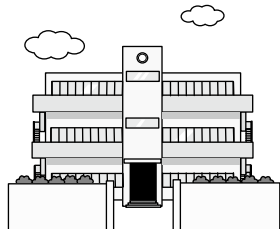
大綱は、教育行政を進める上で最も上位にあり、安定性、継続性が大事だと考えている。

大綱の策定に当たっては、市民や議会の合意を得て策定された幸手市総合振興計画を参酌し

ながら、教育委員会と十分に協議・調整を行い、今年度中に策定する予定で進めていきたい。

また、教育の政治的中立性については、教育基本法や学校教育法など、国の関連法規にのっとり運営していくことで、担保されると考えている。

（市長・教育長）



調整区域の環境整備について考え方は



藤沼貢議員

Q 調整区域の幹線道路、水路の整備状況はどのようになっているのか、また今後はどう管理するのか伺う。

A 道路については、路線ごとに、安全性、利便性、公益性など整備の必要を考慮の上、整備している。
水路については、水路に面す

る所有者に地先管理をお願いしているが、危険性の高いところや、緊急性のある場所から優先的に整備を実施している。
地域の要望に対しては、公益性、緊急性などを考慮して可能な限り整備をしている。
今後についても、必要と判断されるところから、順次整備をしていきたい。
(市長・建設経済部長)



市庁舎自販機で市財産の有効活用は



本田謡子議員

Q 貸し付けることができる市有財産の範囲が、地方自治法の改正で広がった。そこで加須市は、公共施設内の自販機の設置業者を公募し、入札で賃貸借契約を結ぶ方式に変えた結果、年間賃貸料が4〜6倍の収入増となった。

さて、幸手市も限りある財源の中で、少しでも市有財産の有

効活用を目指すべきではないか伺う。

A 社会福祉団体や市内業者育成の観点、また、指定管理者の収益を勘案すると、全ての自動販売機について公募制への切り替えは難しいものと思われるが、他団体の状況などを検証しつつ、検討していきたい。
(総務部長)



平成27年5月臨時会 提出された議案の結果

(市長提出議案) 新風…新 公明党…公 改革…改 先進…先 自民クラブ…自 日本共産党…共 無所属…無 (○:賛成 ×:反対 退:退席)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	本会議議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		巻島 幸男(新)	大山 重隆(無)	小林 啓子(公)	小河原浩和(改)	本田 聖子(改)	松田 雅代(先)	宮杉 勝男(無)	木村 治夫(自)	小林 順一(無)	中村 孝子(先)	藤沼 貢(自)	青木 章(新)	手島 幸成(無)	武藤 書男(無)	大平 泰一(共)		
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号) 幸手市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	賛成多数承認
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号) 幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	賛成全員承認
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号) 幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	賛成全員承認
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて(専決第10号) 幸手市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	賛成全員承認
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号) 平成26年度幸手市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	賛成多数承認
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号) 平成26年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	賛成多数承認
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて(専決第7号) 平成26年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	賛成全員承認
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて(専決第8号) 平成26年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	賛成全員承認
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号) 平成26年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	賛成全員承認
議案第45号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	退	○	○	×	-	賛成多数同意

平成27年6月定例会 提出された議案の結果

議案第46号	幸手市教育委員会委員定数条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第47号	平成27年度幸手市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生	賛成全員可決

6月定例会 会期日程

- 6月1日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月2日・3日・4日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 6月9日(本会議)
 - ・議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 6月10日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 6月11日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 6月12日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 6月19日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

編集後記

県立権現堂公園のあじさいまつりも昨年以上を回る観光客の皆様をお迎えして、盛大に開催されました。また、日光道中幸手宿の伝統行事である八坂祭りも、若衆の情熱により熱く挙行されました。議会では基本条例制定により、議会と議員の役割を明確にし、市民の負託に応える議会、市民に関かれともに歩む議会を目指していかなくてはなりません。暑さ対策に万全を期し、お過ごししていただきたいと思ひます。

議会広報編集委員

- 委員長 成 一 二 夫 子 子 男 代
- 副委員長 幸 順 泰 治 啓 謡 幸 雅 壽
- 委員 島 林 平 村 林 田 島 田 藤
- 委員 手 小 大 木 小 本 巻 松 武
- 委員 長 員 員 員 員 員
- 委員 委 委 委 委 委 委